

● 水前寺江津湖公園管理棟

SUIZENJI-EZUKO PARK
MANAGEMENT OFFICE

熊本市南東部にある江津湖。
豊かな湧水を湛えた緑の湖畔は、
散策やバードウォッチングの場として
多くの市民に親しまれている。
その江津湖下江津地区一帯の
水前寺江津湖公園の管理棟は、
自然との調和を第一に考えてつくられた。
屋上緑化や自然素材の利用などで
景観的にも周囲の自然に溶け込むよう工夫され、
また、洪水時を考慮して床レベルが高くなっている。

Kumamoto Artpolis
K・A・P
くまもとアートポリス

熊本県 | くまもとアートポリス事務局
熊本県土木部建築課 〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1
☎096-383-1111(6215)

休憩室としても利用できる会議室や
そのデッキからは、湖畔の景観が一望でき、
散歩やジョギングに訪れる人々、
水遊びをする子どもたちの
新たな憩いの場である。





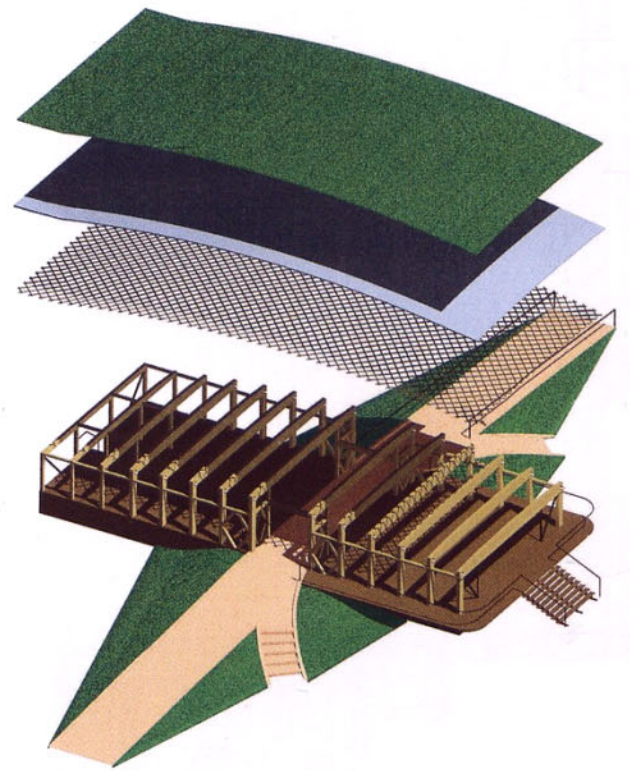
● 建築概要

江津湖は、阿蘇山からの伏流水が湧出してできた自然湖水で、年間を通じて水温が一定していることから、北方系と南方系の動植物が共存する希少な生態系をなしている。私達はこの公園管理棟の設計に当たり、このような自然に調和した建物を造ることを第一に考えた。

人々が園路を散策しながら、自然に建物にアプローチできるように、園路パターンと一体化した動線計画をし、公園が一望できる会議室/オリエンテーションルームを設け、内外の空間が連続するような建物とした。屋根は屋上緑化されていて、いわば緑の地面を切り取って浮かし、その間に施設を差し入れたような構成になっている。屋上の植栽には、江津湖の貴重な植生への影響や、管理のしやすさを考慮して、耐乾性を持つセダムという植物を選定した。

● 建築データ

名称/水前寺江津湖公園管理棟
 所在地/熊本市広木町
 主要用途/事務所
 事業主体/熊本県
 設計者/牛田英作+キャサリン・フィンドレイ
 施工者 建築/竹内工務店
 電気/太平興産
 機械/旭設備工業
 建築面積/299.00㎡
 延面積/266.01㎡
 階数/地上1階
 構造/木造
 外部仕上 屋根/アスファルト防水熱工法の上植栽システム
 (耐根シート、保温通気層)、セダム植え
 外壁/ヒノキ集成材ドイツ下見張り木材保護着色
 塗料塗布
 施工期間/1999年2月-1999年9月
 総工事費/145百万円



南側デッキ及び会議室



正面エントランスとスロープ



エントランスホール



事務室

PHOTO/富重清治



● 建築家プロフィール

牛田 英作(うしだ えいさく)

1954年 東京都生まれ
 1976年 東京大学工学部建築学科卒業
 1976年~83年 磯崎新アトリエ勤務
 1984年~86年 リチャードロジャースパートナーシップ勤務
 1986年 牛田フィンドレイ建築デザイン事務所設立
 1988年 ウシダ・フィンドレイ・パートナーシップに改組

キャサリン・フィンドレイ(Kathryn E. Findlay)

1953年 スコットランド生まれ
 1979年 AAスクール卒業
 1980年 東京大学工学部建築学科修士課程、
 1980~82年 文部省給費留学生、磯崎新アトリエ勤務
 1986年 牛田フィンドレイ建築デザイン事務所設立
 1988年 ウシダ・フィンドレイ・パートナーシップに改組

● 主な作品

ECHO CHAMBER、TRUSSWALL HOUSE、
 SOFT&HAIRY HOUSE、保養所懐山居、
 ビリヤードハウス ほか

1994年 FIRST ANNUAL TOKYO JOURNAL INNOVATIVE
 AWARDS建築部門
 1996年 日本建築学会作品推奨 ほか

